

Letter

2003.110 VOL.2

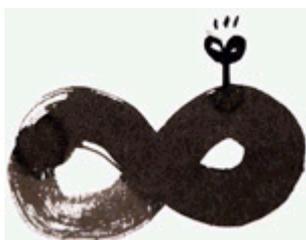
CODE(海外災害援助市民センター)発行
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10
TEL : 078-578-7744 FAX : 078-576-3693
e-mail info@code-jp.org URL <http://www.code-jp.org/>
郵便振替 : 00930-0-330579

皆様、本年もよろしくお願ひいたします。

震災8年を迎えて

副代表 室崎 益輝

兵庫県南部地震が発生してから8年を経過した。8年というのは、復興の「一応の区切り」である10年の節目まで、あと2年(しかない)ということである。ところでこの2年は、有終の美という言葉があるように、復興の総仕上げとしての極めて重要な意味を持っている。回帰的な復旧を創造的な復興するために、局地的な経験を世界的な財産とするために、非日常的な被災者支援を日常的な福祉文化とするために、これからの2年間の取り組みは極めて大切である。



この2年の取り組みにおいては、内においては被災地の真の自立を、外に対しては防災文化の継承を、図っていくことが求められる。被災地の自立では、巨大開

発や復興基金などの外部の力をあてにしないで、困難や危機を乗り越えていく地域力や市民力をつくりあげることである。防災文化の継承では、被災体験によって生みだされた救援の文化や自律の文化を、世界に実践を伴った形で発信し続けることである。

おきたい。真の被災体験の継承は、単に記念碑的な施設をつくることではない。地球を取り巻く様々な危機に対する予防的な運動あるいは救援的な活動として、持続的かつ自律的に展開することにある。CODEの目指すものは、まさに実践を通じた防災文化の発展である。

ところでこの防災文化では、被害が起きてから支援する取り組みだけではなく、被害が起きる前に支援する取り組みもまた、求められている。地球を環境破壊から救うこと、戦争の悪循環を断ち切ること、飢餓や貧困から困窮する人々を救うことに、被災地の目が行き着いた時に、始めて防災文化の花が開く、といえるのではないか。この意味で、これからの2年は、地球規模の視点から被災と被災地を見直す時期にある、といえよう。



後段の防災文化の継承について、もう少し触れて

アフガニスタン救援プロジェクト

10月28日～11月3日まで、アフガニスタン救援委員会スタッフが、国際連合地域開発センター（UNCRD）防災計画兵庫事務所のスタッフと共に2002年3月の地震被災地ナハリンや、カブル北部のショマリプレーンなどを視察しました。視察の結果、支援の方向性として確認されたことは・・・

地震被災地ナハリンに関しては、現地で活動中のNGO「Shelter for Life」をパートナーとして、女性を中心にした就業支援や教育支援のための学校建設

ショマリプレーンに関しては、内戦時代に焼き討ちにされたブドウ畑再生支援

以上の2地域に対する支援が、運営委員会で確認されました。CODEでは、中長期的な支援の為に「1コイン募金」を展開しています（12月20現在：設置個所15ヶ所）。「1コイン募金」についての詳細は、同封いたしました別紙をご覧ください。「1コイン募金」にご協力いただける方は、ご遠慮なく事務局までお申し付け下さい！皆さまのご協力をお待ちしております。

イラン地震救援プロジェクト

前号でもお伝えいたしましたが、6月に発生したイラン地震支援については、集まった募金の全額を「リフォームシステム21」へ寄付して終了いたしました。現在、リフォームシステム21が支援を行った学校は、建設を終了し、来年2月に開校予定です。更にアフガニスタンでも学校建設支援を行うために活動中です。

そこで、支援金を集めるために、現地で描いたスケッチの絵葉書を作成いたしました。当センターでは、この絵葉書の販売に協力し、継続した後方支援を行います。ご協力いただける方は、事務局までご連絡下さい！

リフォーム21のスタッフが現地で描いたスケッチを絵葉書にしました！



8枚入り1,000円
送料別途

セミナー報告

右記の「これまでの活動記録」にもありますように、この間多くのセミナーを企画開催してまいりました。海外での災害救援を主要事業とするCODEでは、市民の人々に救援活動を身近に感じてもらうために、平常時はセミナー開催が活動の中心となります。

その一つとして、医療従事者を対象とした専門セミナーを12月12・13日の2日間に渡って開催しました。今後は、講師

としてお迎えした方々とのネットワークの強化や、受講して下さった方々との連携が期待されます。

その他のセミナーは、全て入門編的に位置づけ、学生などを中心に参加を呼びかけ、次世代への継承を目指しています。これらは、講演録をまとめ、シリーズ化し、来年度継続開催していく予定です。今後もホームページなどをお見逃しなく！！

これまでの活動記録9/18～12/31

2002.10.22	国際ワケショップ 実行委員会出席
10.29	外務省NGOキャパシティビルディング 研修参加
10.31	SVA市川斉さんアフガニスタン報告会開催
11.7	JICA国際親善の集い参加
11.11	CODE基金会議
11.14	アジア地域ワケショップ 公開セミナー参加
11.15	アジア地域ワケショップ 参加
11.19～22	国際協力NGOによる難民支援写真展 开展
11.21	第7回国際ボランティアフォーラム参加
11.21	HAT神戸内国際機関訪問ツアー開催
11.28	HAT神戸内国際機関訪問ツアー開催
11.30	NGOことはじめ2～KOBE発世界へ～開催 震災シンポジウム開催
12.11	国際ワケショップ 実行委員会出席
12.12	専門セミナー開催
12.13	専門セミナー開催
12.13	国際協力実体験セミナー参加
12.14	私が描く！地球のくらしかた～知って楽しい中国編～開催
12.18	第8回運営委員会
12.19	トルコ報告会開催
12.21	NGOことはじめ2～KOBE発世界へ～開催

ありがとうございます。会員・寄付者ご芳名

（以下順不同・敬称略）

一般寄付<2002年10月1日～12月31日まで>

上田耕三、村山良雄、藤田正、芹田健太郎（以上兵庫県）

2002年10月1日～12月31日までの新規会員

- **正会員**：中川和之(東京都)、鶴飼卓(兵庫県)
- **賛助会員**：有馬忠広(京都府)、権守光子(山梨県)、鈴木栄美、杉田民子(以上愛知県)、川島徹、牧睦(以上東京都)、大橋洋子、中島沙也香、菊池健(以上大阪府)、小林たか子、三原悦代、中山恵三、上田耕蔵、光葉啓一、井上由紀子(以上兵庫県)
- 株式会社八百巴商店(兵庫県)、さくみの本舗(大阪府)
- **登録会員**：宝満志郎(兵庫県)、谷洋一(熊本県)

編集・発行 CODE(海外災害援助市民センター)

〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10

TEL：078-578-7744 FAX：078-576-3693